

活 動 情 報

TEL 0930-23-4215 FAX 0930-23-8290

E-mail keichiku-dlc@pref.fukuoka.lg.jp

園芸畜産課 野菜係

No. 32 (令和7年2月19日)

トレーニングファーム等の先進地を調査 ～新規就農者の育成支援体制確立のために～

京築地域では、農家の高齢化や減少により園芸産地が縮小していることから、将来の担い手として期待される就農希望者が国の就農準備資金を受給しながら栽培技術を習得できる研修体制（トレーニングファーム）を令和6年11月に整備したところです。

今後、就農希望者がトレーニングファームで受講開始したことを想定し、必要となるコーチングの手法や研修後の就農に向けた支援策を習得するため、令和7年1月21日から22日にかけて、受入れ農業者や普及指導センターを含めた関係機関の職員で大分県のトレーニングファームを調査しました。

大分県のトレーニングファームでは、市町村やJA等の関係機関が教育役の先輩農家との相性を考慮した上で研修生をマッチングしていることや、研修後速やかに就農するための農地の確保を同時並行で進めているなどの説明がありました。

このほか、先進的な農業法人を調査し、必要な雇用を確保するために法人化したことや企業責任や社内ルールの整備を目的としたGAPを実践していることなど、担い手農家が規模拡大する際に参考とすべき情報を入手することができました。

出席者からは、「研修生の教育方法や卒業生の支援体制について参考になる話を聞くことができた。」「法人化するべき具体的な基準を知ることができた。」といった感想が聞かれました。

今回の事例調査で得られた情報を活かし、普及指導センターは、農業者や関係機関と連携し、新規就農者の確保や担い手の規模拡大に取り組み、産地の維持・発展を支援していきます。



調査の様子